

【学校教育目標】

進んで学習しよう
自他を大切にしよう
責任を果たそう



西中だより

令和7年1月16日発行

青梅市立西中学校

学校だより第9号

校長 梅田 尚之

「目標をもつことの大切さ」

校長 梅田 尚之

令和7年になりました。古くから「一年の計は元旦にあり」などと言いますが、皆さんは新年になって、今年の目標は立てたでしょうか？

ところで、なぜ人は目標を設定したがるのでしょうか？それは、人は目標を設定することで、その目標を達成するために頑張ったり、努力したりするからだと思います。

では、なぜ「頑張ること、努力すること」が良いことなのでしょう？それは、自分自身を成長させることにつながるからです。

たとえば、具体的な目標を設定せずに「お金を貯めよう！」と思ったとします。あなたは何年後かにしっかりとお金を貯めることはできるでしょうか？

私だったら、なんとなくお金を無駄遣いしないように意識はするでしょうが、欲しいものが出てきたときに「これくらいなら買ってもいいか。」「ずっと欲しいと思っているものを買わないなんてできない。」と思って少しずつお金を使ってしまい、いつまでたってもお金を貯めることはできないと思います。しかし、きちんと目標を設定すれば、その目標が達成できるように努力をしましょう。たとえば、「3年間で6万円を貯めて、欲しいダウンジャケットを買おう。」という目標ならどうでしょう。きっと、「1年間で2万円だから、お年玉から1万円貯金して、あとは月々のお小遣いから1000円ずつ貯金すれば、3年間で6万円は貯められる。」などと計算して、それに向けて努力をするはずです。これは、お金の例でしたが、これが勉強であっても、運動であっても同じです。人は目標をもつことで、その達成に向けて頑張ることができます。

ただし、単純に「目標ならば、どんな目標でも良い。」ということではありません。あまりに目標設定が高すぎたり、目標達成までの期間が長すぎたりしてもあまり効果は期待できません。

設定する目標のレベルは人によって違います。自身で「少し頑張れば達成できる」と考えたレベルの目標がいいと言われています。また、目標達成までの期間は、20年、30年といった長期的なものもあってよいのですが、長期的な目標を達成するための5年、10年といった中期的なもの、さらに中期的な目標達成のための数か月、1年を期限とする短期的な目標も必要となります。また、目標達成までの期間が短くなればなるほど目標の内容はより具体的になっていかなくは効果が薄くなります。

たとえば、中学生の皆さんが、「30年後には病院の院長になる。」という長期的な目標を設定したとします。中期的な目標としては「医師になるために医学部に入学して、国家試験に合格する。」となるでしょう。すると、短期的な目標としては「大学の医学部に合格するためには、いろいろな勉強ができなくてはいけないから、中学生のうちには毎日3時間の家庭学習をする。」となるわけです。目の前の具体的な目標を一つ一つクリアしていくことで、中期的、長期的な目標が現実的なものとなっていくわけです。

まだ今年の目標を立てていないという人は、ここでお話ししたことを参考にして、自分自身の長期的な目標、中期的な目標、短期的な目標を考えてみてください。そして、その目標を達成するための努力を、目標を立てた次の瞬間から実行して、自分自身を大きく成長させていってください。

3学期始業式 生徒代表の言葉

みなさん、新年明けましておめでとうございます。皆さんはどのような冬休みを過ごしましたか。そして今年はどうな一年にしたいですか。

さて、今日から三学期が始まります。三学期は一年のまとめと、次の学年に向けての準備をする学期です。1年生は、中学校生活にも慣れ、色々なことに視野を広げることができるようになったと思います。また、4月からは先輩となり、後輩の良きお手本になるような姿を目指してください。2年生は、4月から最上級生として西中を支える大黒柱のような存在になります。これまでより多くの責任、それから後輩達から見られる立場になります。しっかり最上級生としての自覚をもち、これからの学校生活を送っていきましょう。3年生はいよいよ自分の目指す高校への受験が始まります。また、義務教育も終わり、自分のことは自分で考えなければいけません。一人ひとりの進む道も違いますが、これまでの3年間を思い出して頑張ってください。辛いこともあるかもしれませんが、私たち1、2年生も応援しています。

今日からそれぞれの学年にとって重要な三学期が始まります。そして今のクラスでいられるのもあと少しです。三学期が一番短い学期でもあります。残り僅かな時間ですが、今のクラスでの生活を精一杯楽しみ、充実した三学期を送って行ってください。生徒会も頑張りますので、みなさんのご協力をお願いします。寒い時期が続きますので、体調に気を付けて三学期も頑張りましょう。

令和7年1月8日 生徒代表 2年B組 ○○○○

各学年主任より新年の励ましの言葉

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。新たな一年をどう過ごすか、今年の目標は立てられましたか？1年生はもうすぐスキー教室です。楽しみにしている人も多いことでしょう。体調を整え、万全の状態で見守りましょう。長野の地でしか味わうことのできない経験をしてきましょう。そして、4月からは先輩になります。先輩としてカッコいい姿を見せられるよう、個人、クラス、学年それぞれのレベルアップに期待しています。充実の1年間にしましょう！

1学年 ○○○○

新学期が始まり、約1週間が経ちました。始業式の日、三学期は、2年生にとっては3年生になるための準備期間という話をしましたが、その意識スイッチは入りましたか？2年生の三学期は「3年生の0学期」とよく言われます。まずは、時間やきまりを守る、提出物を忘れない、授業に集中するなどの基本を当たり前できるように心掛けていきましょう。「頑張ろう！」と決めたことを、高みを目指して努力できると、充実した三学期になり、3年生でもより良い気持ちでスタートを切れると思います。

また、今のクラスで過ごす期間も残り2か月ほどです。クラスの仲間、そして学年の仲間をいつも大切にして過ごしていきましょう。本年もよろしくお祈りします。

2学年 ○○○○

新年あけましておめでとうございます。年末年始はどのように過ごしましたか？3年生の皆さんは、それぞれの進路に向けた取り組みでのんびりするところではなかった人多かったと思いますが、「試験なくして栄光なし！」です。その努力が報われることを信じて頑張りましょう。3年生の保護者の皆様におかれましても、おそらくはお子様が進路選択に向けて必死に取り組む緊張感で家の中もピリピリしていたのではないかと思います。ここからラストスパートです。8日から始まった三学期を「充実の三学期」とし、お子様の義務教育修了を共に笑顔で祝福できるよう、学校も協力していきましょう。卒業まで残り44日ですが、今年もどうぞよろしくお祈りします。

3学年 ○○○○

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

保護者の皆様には、お子様の早退などのご連絡時にいつも早めのご対応をいただき、感謝申し上げます。お迎えが難しい時でもお電話をすぐにとっていただけることが多く、保健室運営にあたり大変心強く感じております。

さて、世間では「多様性」という言葉が多用されています。ジェンダー（社会や文化によって形作られた性別による役割や特徴）についても一人ひとりが考えることが増えたと思います。ジェンダーレス、ジェンダーフリー、LGBTQ+、SOGI…いろいろな言葉がありますが、一番大切なのはその人自身が「自分を知ること」、また、型にはめることなく相手を見ること、理解しようと歩み寄ることだと私は考えます。今はSNSの流行に伴い情報も無限に入ってくるため、「自分も○○かも…」と考える機会が多いかもしれません。情報を鵜呑みにするのは少し違う気もしますが、自分を見つめる良い機会につながることを願います。

保健室でも生徒一人ひとりの自己理解の場になるよう、必要な支援をしていきます。本年もご理解とご協力をよろしくお願いいたします

部活動の成果

卓球部

1月12日（日） 第8ブロック新人卓球大会（団体の部）

女子団体 準優勝



男女共1月25日・26日に行われる東京都中学校新人卓球大会に出場

男子団体 第5位

アンケートへのご協力のお礼

先日は、学校アンケート並びに整髪料・定期考査の日程アンケートにご協力をいただき誠にありがとうございました。生徒や保護者の意見を参考に、整髪料はミスト系寝ぐせ直しについて許可することと、定期考査は「中間考査2日、期末考査3日」で教育課程申請することを、生徒朝礼で生徒に説明いたしました。

また、通学路の街灯が少ない箇所があることやバス停が狭い等のご意見は、学校からも市教委に連絡します。その他いただきましたご意見も各分掌で検討し、今後に生かしてまいります。

1月の目標

感染予防につとめよう

青梅市立西中学校

〒198-0063 青梅市梅郷 6-1460-1

【TEL】0428-76-0114 【FAX】0428-76-2394

平日7:45～17:30まで

※上記以外留守番電話対応

【HP】<https://www.city.ome.tokyo.jp/school/nishi-j/>

私のふるさと「青梅」

(教育長賞)

青梅市立西中学校三年 〇〇〇〇

「志をはたしていつの日にか帰らん 山は青き故郷 水は清き故郷」
これは高野辰之さんが作詞された、「ふるさと」の三番の歌詞です。私は保育園の卒園式でこの歌の一番と三番を歌いました。当時を振り返ってみると、この歌には私に通ずるところがあると気づきました。

私は沢井にある三田保育園に通い、自然に囲まれた環境でのびのびと育ちました。春は、みんなで外にブルーシートを広げてお花見をしました。夏は、澤乃井園を通って多摩川の遊歩道を歩き、川で石投げをしたり、高い岩に登ったり、蝉やカナブンを捕まえてみんなで観察したりしました。蝉の抜け殻が至る所にあるのでバケツ一杯に集めたりもしました。秋は、御岳山へ遠足です。ケールカーは使わず武蔵御嶽神社まで歩いて行きます。道を進んでゆくと次々に現れる立派な木や私達の真上を通りさつていくケールカーなど私にとって新鮮なことがかりで、夢中で山道を登り続けました。冬は、年に一、二回雪が降ります。

「みんなでかまくらを作るぞ」
と、最初は意気込むのですが、雪を集めているうちに日が照ってきて雪が溶けてしまい、まともなかまくらを作れたことはありません。これらのことは十年も前の出来事なのに昨日の日のように覚えています。

平和な青梅は二〇〇九年ウメ輪紋ウィルスにより状況が一変しました。私が小学校に上がる頃には、ほとんどの梅の木が伐採されてしまったのです。思い返すと心に穴が空いたようでした。小学生のころも中学生の今も楽しめています。しかし、保育園の頃がいちばん楽しかったです。それは、自然豊かな環境で青梅の素晴らしさを常日頃から噛み締めて生活することができていたからだと思います。現在、青梅は昔のように梅の木が見られるようになってきました。私が成人する頃には、梅の公園が地面も見えないくらい梅の木で埋まっていることを期待しています。

私は近い将来、高校受験、大学受験を乗り越え社会人になります。たくさんさんの困難に立ち向かい、打ち勝っていく必要もあります。辛くて苦しくて、未来が真っ暗になるかもしれないけれど、どんなときでも青梅に帰ってくる事ができるから、きっと大丈夫です。

「志をはたしていつの日にか帰らん 山は青き故郷 水は清き故郷」
この歌は私のふるさとにぴったりだと思います。山は青き故郷、水は清き故郷とは、まさに青梅のようです。この歌のように、目標や自分のやるべきことを成し遂げたときには、思い出の詰まったふるさと青梅に帰郷します。私は青梅が大好きです。いつでも迎え入れてくれる、穏やかで温かいふるさとには私の心の支えです。いつまでもいつまでも青梅が豊かな自然に囲まれた活気溢れる町であることを願っています。

青梅の将来像

(審査員特別賞)

青梅市立西中学校二年 〇〇〇〇

私は青梅の駅前が再構築されているのを見ました。正直そのとき、複雑な気持ちになりました。昔から親しんできた青梅の街並みを変えないでほしいと思っただけです。

私は、青梅の自然豊かな地域で暮らしています。川と山が近く、電車は一時間に一本か二本しか走っていません。たまに山に住む動物たちにも出会います。「とても不便だ」と言う人もいますが、私は好きです。最初の乗換駅である青梅駅は私にとって、とても落ち着く場所です。空が広く、古い街並みが残る、人に優しい街だと思っています。伝統的な青梅大祭やだるま市、マラソン大会ではとてもにぎわいます。小さな街だからこそ、そのにぎわいにはわくわくします。そこに新しいマンションが建ったらどうなるでしょう。商業施設が入ってお買い物も便利になるかもしれません。人が増えてにぎやかになるかもしれません。しかし、それを素直に受け入れられない自分がいます。昔ながらの商店が減り、古い街並みが消えていく様子を想像してさみしくなりました。

私は去年の夏、家族と京都旅行に行きました。新幹線を降りてすぐは近代的な街並みでそこには想像していた京都の景色のかけらもありませんでした。しかし、清水寺や祇園に行くと、私が想像したよりも古くて美しい景色がありました。何百年も前の人々もここで過ごしていたことを想像すると、時空を超えて私も同じ場所に立てたと感動しました。京都の街のあちらこちらに「歴史保護区」や「自然保護区」という見慣れない言葉を目にしました。京都の街が古いものと新しいもので上手に共存しているのは区域を分けて保護して大切にしているからだと思います。青梅にもたくさんさんの古いものが残っていますが、その価値を知っている人が少なく、このままだと消えていく可能性が高いと思います。古いものを残していくにはたくさんの方にその価値を知ってもらい、市が保護をして古いものを残していきたいという想いを育てていくことが大切だと思います。

駅前の開発はもう止めることができません。そこで、新しく住む人たちを含めて青梅を好きになって誇ることができたら、今の青梅らしさを守ることができると考えました。そして青梅が歴史や自然を保護することで、新旧が共存する文化の高い街になると期待しています。